

シンガポールの外国人労働者問題の変遷から考察する今後の課題
Historical Transition of the Foreign Worker Problem in Singapore

菅 摂子 (東京大学大学院)

SUGA Setsuko (University of Tokyo)

キーワード：シンガポール 外国人労働者政策 外国人労働者問題 統合政策

Key Words: Singapore, Foreign Workers Policy, Foreign Workers Problem, Integration Policy

日本のみならず人口転換の末期に位置する移民の少ない先進国では、人口動態の変化に伴う労働力不足問題の解決策として、海外からの労働力の活用が検討されるようになっていく。それにより、外国人労働者を国家の経済的活力の維持を目指した戦略のひとつとして取り上げられるようになった。しかし、経済的側面を重視してきたこれまでの外国人労働者政策は様々な問題を提起する種となっている事実があり、これらが近年になって顕在化してきている。外国人労働者は、労働力の流動化のみならず、国家の人口構成の変容を意味する。今後、各国において外国人労働者の流動化が益々増大する傾向にあることを鑑み、公平かつ公正で効果的な外国人労働者政策や統合政策の確立が焦眉の課題とすることができる。

そこで、本報告では、多くの国際移民を抱え、高い割合の外国人労働者を受け入れている国、シンガポールを事例に取り上げ、今後の課題を明らかにすることを試みる。「移民国家」であるシンガポールは、1965年マレーシアからの政治的独立以降、外国人労働者を受け入れ続け、最重要視されてきた経済成長を国外からの人材供給を駆使することで半世紀足らずで飛躍的な成長を成し遂げてきた。非高度人材から高度人材まで全ての技術レベルにおいて外国人労働者の受け入れを行っており、彼らによって多くの労働力が補完されている。2006年の時点において、外国人労働者は67万人に達し、労働市場の約30%が外国人労働者によって占められている。そのうち58万人(約87%)が非高度人材として建設・製造・海事事業や家事労働に従事しており、残りの9万人(約13%)が高度人材として就業している(Yeoh, 2007)。近年においても外国人労働者への依存は高く、2010年では全体の労働力の34.7%が外国人労働者である(Yeoh, Lin, 2008)。これらの外国人労働者、特に非高度人材とされる労働者に対し、外国人労働者政策を通して細かな規制と厳しい管理が実施されてきた。その政策は、国内に流入する外国人労働者の「調整弁」として機能し、国内の労働市場と社会状況に応じて変動してきた。

シンガポールにおいて外国人労働者政策は、時代の形成過程において重要な要素の一つであり続けてきた。しかし、現代、30%以上の労働力を占めるまでに至ったシンガポールの外国人労働者の存在は、経済的影響のみならず社会的な影響力を増すようになり、なおか

つ外国人労働者への依存からの脱却が困難な状況となっている。

よって、本報告では、シンガポールにおける外国人労働者政策の変遷を歴史的な脈から考察し、各時代において発生した問題を分析して、それが蓄積されていく過程および現代に至って顕在化する現状を報告する。これにより、現代から歴史を振り返ることで見えてくる外国人労働者政策の影響と機能を明らかにする。さらに、受け入れ社会の変容による「外国人労働者」の社会的位置づけの変化を明らかにすることにより、外国人労働者政策の機能と限界を見出す。それによって、経済的利益を重視した外国人労働者の受け入れは、もはや経済以外の側面においての影響力を増し、かつて、国内の労働市場と社会状況のバランスを保つ「調整弁」として機能していた制度が形骸化しつつあることを解明する。

シンガポールにおいて、瞬く間に経済成長を成し遂げた背景に潜む国民と外国人労働者の狭間に生ずる諸問題は、かつてその都度調整されてきた外国人労働者政策の変化によって解決されてきたかのように思われていた。しかし、それは単に対処療法的な解決策であっただけであり、実際に問題は解決されないまま蓄積され続けており、現代になってそれが顕著に顕在化し始めている。そのため、外国人労働者の量的および質的流入を政策によって規制管理していたはずであるにもかかわらず、その統制能力は脆弱化してしまっている。さらに、従来国民の枠外であり続けてきた外国人労働者であったが、今日に至って、もはや単なる「外国人」ではなくなってきている。このために同じ社会に共存する社会の一員として経済以外の側面における社会的統合を含めた平等性、民族の差異を考慮した政策、そして「新たな移民」と国民との統合政策が必要となってきた。現代において顕在化し始めた外国人労働者問題の浮き彫りは、経済的側面を重視し続けた外国人労働者政策の限界を示し、矛盾した統合政策の再編が喫緊の課題であることを象徴している。

参考文献

Yeoh, Brenda S.A. 2007, “Singapore: Hungry for Foreign Workers at All Skill Levels,”
Migration Policy Institute

<http://www.migrationinformation.org/Profiles/display.cfm?ID=570> (2010年10月20日)

Yeoh, Brenda S.A., Lin, Weiqiang. 2012, “Rapid Growth in Singapore's Immigrant
Population Brings Policy Challenges,” Migration Policy Institute

<http://www.migrationinformation.org/Profiles/display.cfm?ID=887> (2013年10月20日)